

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本ユニシス株式会社
 コード番号 8056 URL <http://www.unisys.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 初井 勝人
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 大友 勝博
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

TEL 03-5546-4111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	212,946	—	4,205	—	3,729	—	1,085	—
20年3月期第3四半期	216,405	11.3	1,823	—	1,746	—	△5,396	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	11.31	11.29
20年3月期第3四半期	△56.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
21年3月期第3四半期	237,098	84,439	35.1	868.22		
20年3月期	258,457	86,341	32.9	885.88		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 83,273百万円 20年3月期 84,930百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	7.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	335,000	△0.8	20,000	1.8	19,000	△1.4	9,800	284.8	102.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	109,663,524株	20年3月期	109,663,524株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	13,750,602株	20年3月期	13,792,475株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	95,894,583株	20年3月期第3四半期	95,963,364株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。なお、上記の業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページをご参照下さい。

2. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第3号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発する世界的な金融不安の拡大と景気の減速、さらに為替レートの円高進行も重なり、先行き減速傾向にあります。

情報サービス市場におきましても、第3四半期以降、企業のコスト削減、投資対効果（ROI）を重視した投資判断姿勢は非常に強くなってきており、経営環境は今後厳しさを増すと想定しております。

このような経営環境の中で、お客様の価値創造に貢献できる高成長企業集団への脱皮を果たすべく、日本ユニシスグループは「ICT市場での事業領域の拡大」と「企業体質の強化」に引き続き鋭意取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、ICT事業の更なる強化のために新設したICTサービス本部を中心に、従来のアウトソーシング事業に加え、SaaS（Software as a Service）など新しいサービス利用型事業を展開しています。

これら取り組みの一環として、仮想化や運用の自動化など、最新鋭の技術を駆使した『次世代IDC（Internet Data Center）基盤』をベースに、お客さまの要望に合ったリソースや機能を最短5営業日で提供可能な『ICTホスティングサービス』の提供を開始しました。

また、専用のUSB型認証キーを使用してインターネットに接続したパソコンから当社の提供するIDCを経由して、お客さまの社内ネットワークに安全に接続できるSaaS型サービス基盤『SASTIK™サービス』は、多数の引き合いをいただいております。既にお客さまへの導入を開始しております。

さらに、SaaSの利用と提供の機能を備えたマーケットプレイス『ビジネスパーク™』の提供を開始するとともに、『Microsoft®Dynamics®CRM4.0』をベースとしたSaaS型SFAソリューションの提供についてマイクロソフト(株)と合意し、第4四半期より販売を開始予定です。

当社のグループ会社であるユニアダックス(株)でも、ICT基盤の構築需要拡大にワンストップで対応すべく、日本アイ・ビー・エム(株)のブレードサーバー『IBM®BladeCenter®』の販売と保守体制強化に合意し、販売活動とサービス提供を開始しました。

当社および当社のグループ会社であるユニアダックス(株)、(株)ネットマークスの3社共同による取り組みの一環としては、ワークスタイル変革コンセプト『PowerWorkPlace®』のもと、ユニファイド・コミュニケーション・ソリューション（注）を体系化し、社員・組織の業務生産性向上や会議にかかるコスト削減、在宅勤務への対応等をワンストップで構築するサービスを積極的に推進しています。

（注）ユニファイド・コミュニケーション：電話、メール、テレビ、Web会議等、さまざまなコミュニケーションツールを統合した効果的コミュニケーション

基盤事業であるシステムインテグレーション事業の強化に向けては、金融分野における次世代オープン勘定システム『BankVision®』の販売拡大に加え、ソリューション開発部の新設によるより一層のソリューション戦略の強化やライフサイクル管理の充実、ソリューションのサービス利用型事業への展開を進めております。具体的には、『BankVision®』向けに開発したミドルソフトウェア『MIDMOST®』の高い堅牢性や安全性をベースに、『MIDMOST®』上で稼働する信用金庫向け次世代営業店システム『BANK_FIT-NE®』の提供開始や、中規模向けOSSフレームワーク『Maia™（マイア）』の機能拡充等を行いました。

また、(株)ゆうちょ銀行との間の振込サービスに係る各金融機関側のシステム対応や、株券電子化に係る各金融機関へのシステム対応を実施しており、第4四半期の本番稼働に向けて、順調に各プロジェクトを推進してまいりました。

さらなる事業拡大に向けて、インドのITコンサルティング企業であるインフォシステクノロジーズリミテッドとの戦略アライアンスによる協業も継続的に実施しております。

一方、企業体質強化面では、今年度新設したプロジェクト管理部による第三者プロジェクト監視、管理、指導の機能強化、昨年度から開始した問題の早期発見システムである「行灯システム」等により、サービス品質の向上や不採算案件の大幅な減少等で具体的な効果が出てきています。

当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は、システムサービスが引き続き好調に推移していることから、サービス売上は増収となりましたが、ハードウェアおよびソフトウェア売上が減少した結果、売上高合計では2,129億46百万円（前年同四半期比1.6%減少）となりました。

利益面につきましては、アウトソーシングの大型案件の終了や運用コストの増加、ハードウェアおよびソフトウェア売上の減少があったものの、システムサービスにおける売上の増加や採算性の向上等に加え、販売費及び一般管理費が減少した結果、営業利益は42億5百万円（前年同四半期比130.6%増加）、経常利益は37億29百万円（前年同四半期比113.5%増加）、四半期純利益は10億85百万円（前年同四半期は53億96百万円の損失）となりました。

※当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。したがって、当第3四半期連結累計期間の連結損益計算書と前年同期の連結損益計算書では作成基準が異なるため、前年同四半期比較に関する情報は参考として記載しております。

* SASTIKは、(株)サスライトの商標です。

* Microsoft、Dynamicsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

* IBM、BladeCenterは、International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

* PowerWorkPlaceは、ユニアデックス(株)の登録商標です。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、商品、仕掛品が増加したものの、売掛金の回収が進んだことから、前連結会計年度末比213億59百万円減少の2,370億98百万円となりました。

負債につきましては、買掛金の支払いや商業ペーパーの償還等により前連結会計年度末比194億57百万円減少の1,526億59百万円となりました。

純資産につきましては、844億39百万円となり、自己資本比率は35.1%と、当四半期累計期間において2.2ポイント改善いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間の現金及び現金同等物(以下、「資金」という)につきましては、営業活動により得られた資金を、営業用コンピュータ等固定資産の取得および借入金の返済に充当いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は前連結会計年度末比107億36百万円増加の323億40百万円となりました。

営業活動により得られた資金につきましては、売上債権の減少等により278億81百万円の収入となりました。

投資活動により支出した資金につきましては、アウトソーシング用コンピュータおよびソフトウェア開発等による固定資産の取得等により124億43百万円の支出となりました。

財務活動により支出した資金につきましては、短期借入金の増加による収入があったものの、長期借入金の返済、商業ペーパーの償還等により47億19百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

米国の金融不安に端を発した世界的な景気後退により国内産業においても急激に景気が悪化しており、企業投資は第4四半期以降、大きく下方に動く状況であります。このことを踏まえ、当期の業績予想につきましては、平成20年11月4日に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の連結業績予想および個別業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成21年3月期連結業績予想数値の修正(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年11月4日 発表)	345,000	22,000	21,000	11,000
今回修正予想(B)	335,000	20,000	19,000	9,800
増減額(B-A)	△ 10,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 1,200
増減率(%)	△ 2.9	△ 9.1	△ 9.5	△ 10.9
(ご参考) 前期(平成20年3月期)実績	337,759	19,649	19,265	2,546

2. 平成21年3月期個別業績予想数値の修正(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年11月4日 発表)	228,000	12,700	15,500	9,500
今回修正予想(B)	221,000	10,700	13,500	8,300
増減額(B-A)	△ 7,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 1,200
増減率(%)	△ 3.1	△ 15.7	△ 12.9	△ 12.6
(ご参考) 前期(平成20年3月期)実績	227,064	10,441	13,606	3,071

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結累計期間に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第3号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

・たな卸資産の評価基準及び評価方法

販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価基準によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価基準(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。なお、これによる損益への影響は軽微であります。

・ソフトウェアの請負開発契約に係る収益の計上基準の変更

ソフトウェアの請負開発契約に係る収益の計上基準については、従来、検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)および「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)が平成21年4月1日より前に開始する連結会計年度から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、第1四半期連結会計期間に着手したソフトウェアの請負開発契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる当社の原価規模100百万円以上の契約については工事進行基準を、その他の契約については検収基準を適用しております。

なお、これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ1,095百万円増加しております。

・リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))および「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準を適用し、平成20年4月1日以後に契約したリース取引

について、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、これによる損益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,340	21,613
受取手形及び売掛金	51,110	88,663
有価証券	—	49
商品	12,169	9,412
製品	380	380
原材料	259	215
仕掛品	12,611	7,456
貯蔵品	18	24
繰延税金資産	9,493	10,085
その他	9,996	8,735
貸倒引当金	△470	△475
流動資産合計	127,910	146,160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,646	4,642
機械装置及び運搬具（純額）	12,009	12,997
その他（純額）	4,921	3,511
有形固定資産合計	21,577	21,150
無形固定資産		
のれん	1,715	1,721
ソフトウェア	37,267	36,117
その他	59	29
無形固定資産合計	39,042	37,869
投資その他の資産		
投資有価証券	16,073	18,641
繰延税金資産	8,819	8,938
前払年金費用	12,619	14,086
その他	11,714	13,234
貸倒引当金	△658	△1,623
投資その他の資産合計	48,568	53,277
固定資産合計	109,188	112,297
資産合計	237,098	258,457

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,163	34,744
短期借入金	24,212	14,500
1年内返済予定の長期借入金	8,589	8,750
コマーシャル・ペーパー	6,000	12,500
未払法人税等	233	3,120
引当金	870	1,325
その他	30,260	29,874
流動負債合計	91,329	104,815
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	47,135	53,650
繰延税金負債	1,008	1,052
退職給付引当金	1,298	1,308
その他の引当金	376	246
負ののれん	58	70
その他	1,452	973
固定負債合計	61,329	67,301
負債合計	152,659	172,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,483	5,483
資本剰余金	15,475	15,494
利益剰余金	82,837	83,046
自己株式	△19,259	△19,318
株主資本合計	84,536	84,705
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,233	240
繰延ヘッジ損益	△69	△39
為替換算調整勘定	40	22
評価・換算差額等合計	△1,262	224
新株予約権	515	285
少数株主持分	650	1,125
純資産合計	84,439	86,341
負債純資産合計	237,098	258,457

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日)
売上高	212,946
売上原価	160,433
売上総利益	52,513
販売費及び一般管理費	48,307
営業利益	4,205
営業外収益	
受取利息	148
受取配当金	289
その他	240
営業外収益合計	679
営業外費用	
支払利息	942
その他	213
営業外費用合計	1,155
経常利益	3,729
特別利益	
投資有価証券売却益	10
受取和解金	423
その他	0
特別利益合計	433
特別損失	
固定資産除売却損	59
投資有価証券評価損	380
事務所移転費用引当金繰入額	238
その他	87
特別損失合計	766
税金等調整前四半期純利益	3,396
法人税、住民税及び事業税	819
法人税等調整額	1,706
法人税等合計	2,526
少数株主損失(△)	△214
四半期純利益	1,085

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,396
減価償却費	10,683
のれん償却額	80
負ののれん償却額	△12
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△1,296
受取利息及び受取配当金	△438
支払利息	942
売上債権の増減額 (△は増加)	37,553
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,950
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,510
その他	2,409
小計	31,846
利息及び配当金の受取額	438
利息の支払額	△756
法人税等の支払額	△3,647
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,881
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△5,100
有形固定資産の売却による収入	175
無形固定資産の取得による支出	△7,211
投資有価証券の取得による支出	△430
投資有価証券の売却による収入	65
その他	58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	9,778
長期借入金の返済による支出	△6,675
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△6,500
自己株式の取得による支出	△1
ストックオプションの行使による収入	40
配当金の支払額	△1,262
少数株主への配当金の支払額	△36
その他	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,719
現金及び現金同等物に係る換算差額	17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,736
現金及び現金同等物の期首残高	21,603
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,340

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第3号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

当社グループは、コンピュータ、ソフトウェア、その他関連商品ならびにこれらに関する各種サービスを提供する単一事業区分の業務を営んでいるため、事業の種類別セグメント情報の記載を行っておりません。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

連結売上高の合計に占める日本の割合が90%を越えるため、所在地別セグメント情報の記載を行っておりません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

連結売上高に対する海外売上高の割合が僅少なため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	216,405
II 売上原価	164,276
売上総利益	52,128
III 販売費及び一般管理費	50,305
営業利益	1,823
IV 営業外収益	
受取利息及び受取配当金	367
その他	490
V 営業外費用	
支払利息	851
その他	83
経常利益	1,746
VI 特別利益	411
VII 特別損失	6,452
税金等調整前四半期純損失 (△)	△4,294
法人税等	1,222
少数株主損失(△)	△119
四半期純損失(△)	△5,396

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,294
減価償却費	11,149
のれん償却額及び負ののれん償却額	6,279
引当金の減少額	△407
売上債権の減少額	38,456
たな卸資産の増加額	△8,971
仕入債務の減少額	△17,820
その他営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,795
小計	11,597
利息及び配当金の受取額	396
利息の支払額	△673
法人税等の支払額	△5,201
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,118
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△6,873
無形固定資産の取得による支出	△9,557
投資有価証券の取得による支出	△1,023
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,676
その他投資活動によるキャッシュ・フロー	2,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,975
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純減少額	△9,950
長期借入れによる収入	27,000
長期借入金の返済による支出	△925
コマーシャル・ペーパーの純増加額	2,000
配当金の支払額	△900
その他財務活動によるキャッシュ・フロー	△464
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,759
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	4
V 現金及び現金同等物の増加額	907
VI 現金及び現金同等物の期首残高	23,225
VII 新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	51
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	24,184

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

当社グループは、コンピュータ、ソフトウェア、その他関連商品ならびにこれらに関する各種サービスを提供する単一事業区分の業務を営んでいるため、事業の種類別セグメント情報の記載を行っておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

連結売上高の合計に占める日本の割合が90%を越えるため、所在地別セグメント情報の記載を行っておりません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

連結売上高に対する海外売上高の割合が僅少なため、海外売上高の記載を省略しております。

6. その他の情報

「参考資料」

前年同期に係る財務諸表との比較

(1) 連結損益計算書

科目	当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	増減		前連結会計年度に係る 要約連結損益計算書 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
I 売上高					
サービス	162,763	158,703	4,060	2.6	244,785
ソフトウェア	20,201	23,633	△3,432	△14.5	39,219
ハードウェア	29,982	34,068	△4,085	△12.0	53,754
計	212,946	216,405	△3,458	△1.6	337,759
II 売上原価	160,433	164,276	△3,842	△2.3	251,727
売上総利益	52,513	52,128	384	0.7	86,031
III 販売費及び一般管理費	48,307	50,305	△1,997	△4.0	66,382
営業利益	4,205	1,823	2,382	130.6	19,649
IV 営業外収益					
受取利息及び受取配 当金	438	367	71	19.5	428
上場有価証券売却益	0	306	△306	△99.9	306
その他	240	184	56	30.6	271
V 営業外費用					
支払利息	942	851	90	10.7	1,189
その他	213	83	130	156.0	201
経常利益	3,729	1,746	1,982	113.5	19,265
VI 特別利益					
固定資産売却益	-	2	△2	△100.0	-
投資有価証券売却益	10	348	△337	△97.0	348
受取和解金	423	-	423	-	-
役員退職給与引当金 戻入額	-	60	△60	△100.0	94
その他	0	-	0	-	48
VII 特別損失					
固定資産売却損	59	52	7	13.5	124
投資有価証券評価損	380	497	△116	△23.5	876
のれん償却額	-	5,889	△5,889	△100.0	8,074
事務所移転費用引当 金繰入額	238	-	238	-	214
その他	87	12	74	589.6	250
税金等調整前四半期(当 期)純利益、又は税金等 調整前四半期純損失 (△)	3,396	△4,294	7,690	-	10,215
法人税等	2,526	1,222	1,303	106.7	7,950
少数株主損失(△)	△214	△119	△94	-	△280
四半期(当期)純利益、 又は四半期純損失(△)	1,085	△5,396	6,481	-	2,546

(2) 連結貸借対照表

科目	当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前第3四半期 連結会計期間末 (平成19年12月31日)	増減		前連結会計年度末 に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	32,340	24,194	8,145	33.7	21,613
受取手形及び売掛金	51,110	52,596	△1,486	△2.8	88,663
有価証券	-	-	-	-	49
たな卸資産	25,439	31,058	△5,618	△18.1	17,488
繰延税金資産	9,493	13,536	△4,042	△29.9	10,085
その他	9,996	8,964	1,031	11.5	8,735
貸倒引当金	△470	△398	△71	-	△475
流動資産合計	127,910	129,953	△2,043	△1.6	146,160
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
建物及び構築物	4,646	4,509	136	3.0	4,642
機械装置及び運搬具	12,009	13,786	△1,776	△12.9	12,997
その他	4,921	3,502	1,419	40.5	3,511
有形固定資産合計	21,577	21,797	△219	△1.0	21,150
2. 無形固定資産					
のれん	1,715	3,701	△1,986	△53.7	1,721
ソフトウェア	37,267	34,190	3,077	9.0	36,117
その他	59	30	29	96.4	29
無形固定資産合計	39,042	37,922	1,120	3.0	37,869
3. 投資その他の資産					
投資有価証券	16,073	19,228	△3,155	△16.4	18,641
繰延税金資産	8,819	9,915	△1,096	△11.1	8,938
前払年金費用	12,619	13,587	△967	△7.1	14,086
その他	11,714	13,060	△1,346	△10.3	13,234
貸倒引当金	△658	△1,531	872	-	△1,623
投資その他の資産合計	48,568	54,261	△5,692	△10.5	53,277
固定資産合計	109,188	113,980	△4,792	△4.2	112,297
資産合計	237,098	243,934	△6,836	△2.8	258,457

科目	当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前第3四半期 連結会計期間末 (平成19年12月31日)	増減		前連結会計年度末 に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	21,163	21,979	△816	△3.7	34,744
短期借入金	24,212	15,050	9,162	60.9	14,500
1年以内返済予定の 長期借入金	8,589	16,575	△7,985	△48.2	8,750
1年以内償還予定の 社債	-	8,000	△8,000	△100.0	-
コマーシャル・ペー パー	6,000	15,000	△9,000	△60.0	12,500
未払法人税等	233	1,256	△1,022	△81.4	3,120
引当金	870	844	26	3.1	1,325
その他	30,260	29,806	454	1.5	29,874
流動負債合計	91,329	108,511	△17,181	△15.8	104,815
II 固定負債					
社債	10,000	-	10,000	-	10,000
長期借入金	47,135	52,575	△5,439	△10.3	53,650
繰延税金負債	1,008	803	204	25.5	1,052
退職給付引当金	1,298	1,398	△100	△7.2	1,308
その他の引当金	376	494	△118	△24.0	246
負ののれん	58	74	△15	△21.1	70
その他	1,452	1,660	△208	△12.5	973
固定負債合計	61,329	57,006	4,322	7.6	67,301
負債合計	152,659	165,518	△12,858	△7.8	172,116

科目	当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前第3四半期 連結会計期間末 (平成19年12月31日)	増減		前連結会計年度末 に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	5,483	5,483	-	-	5,483
資本剰余金	15,475	15,494	△19	△0.1	15,494
利益剰余金	82,837	75,104	7,733	10.3	83,046
自己株式	△19,259	△19,319	59	-	△19,318
自己株式申込証拠金	-	0	△0	△100.0	-
株主資本合計	84,536	76,763	7,772	10.1	84,705
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価 差額金	△1,233	685	△1,919	-	240
繰延ヘッジ損益	△69	-	△69	-	△39
為替換算調整勘定	40	3	36	910.2	22
評価・換算差額等 合計	△1,262	689	△1,952	-	224
III 新株予約権	515	209	306	146.3	285
IV 少数株主持分	650	754	△104	△13.8	1,125
純資産合計	84,439	78,416	6,022	7.7	86,341
負債純資産合計	237,098	243,934	△6,836	△2.8	258,457

(3) 連結キャッシュ・フロー計算書

区分	当第3四半期 連結累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日)	前第3四半期 連結累計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日)	増減	前連結会計年度に係る 要約連結キャッシュ ・フロー計算書 (自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益、又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,396	△4,294	7,690	10,215
減価償却費	10,683	11,149	△466	15,170
のれん償却額	80	6,283	△6,202	8,597
負ののれん償却額	△12	△3	△8	△7
退職給付引当金の減少額	△10	△187	177	△278
その他の引当金の増減額	△1,296	△220	△1,076	183
受取利息及び受取配当金	△438	△367	△71	△428
支払利息	942	851	90	1,189
売上債権の減少額	37,553	38,456	△903	2,389
たな卸資産の増減額	△7,950	△8,971	1,020	4,778
仕入債務の減少額	△13,510	△17,820	4,309	△5,112
その他営業活動によるキャッシュ・フロー	2,409	△13,280	15,689	△12,216
小計	31,846	11,597	20,249	24,482
利息及び配当金の受取額	438	396	42	429
利息の支払額	△756	△673	△82	△1,177
法人税等の支払額	△3,647	△5,201	1,554	△5,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,881	6,118	21,763	18,591
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△5,100	△6,873	1,773	△8,251
有形固定資産の売却による収入	175	589	△414	790
無形固定資産の取得による支出	△7,211	△9,557	2,345	△14,808
投資有価証券の取得による支出	△430	△1,023	593	△1,331
投資有価証券の売却による収入	65	1,180	△1,114	1,180
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△6,676	6,676	△6,676
その他投資活動によるキャッシュ・フロー	58	385	△327	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,443	△21,975	9,531	△29,103

区分	当第3四半期 連結累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日)	前第3四半期 連結累計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日)	増減	前連結会計年度に係る 要約連結キャッシュ ・フロー計算書 (自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額	9,778	△9,950	19,728	△10,500
長期借入れによる収入	-	27,000	△27,000	30,150
長期借入金の返済による支出	△6,675	△925	△5,750	△10,825
社債の発行による収入	-	-	-	10,000
社債の償還による支出	-	-	-	△8,000
コマーシャル・ペーパーの純増減額	△6,500	2,000	△8,500	△500
自己株式取得による支出	△1	△204	202	△204
ストック・オプションの権利行使による収入	40	43	△2	43
配当金の支払額	△1,262	△900	△361	△935
少数株主への配当金の支払額	△36	△141	105	△141
その他財務活動によるキャッシュ・フロー	△63	△162	98	△271
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,719	16,759	△21,479	8,814
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	17	4	12	23
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△)	10,736	907	9,828	△1,673
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	21,603	23,225	△1,622	23,225
Ⅶ 新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	-	51	△51	51
Ⅷ 現金及び現金同等物の期末残高	32,340	24,184	8,155	21,603